

市内各地に甚大な被害

令和2年7月豪雨



7月6日 10時47分	「大雨警報」発表・災害警戒本部設置
13時22分	「土砂災害警戒情報」発表
14時12分	「洪水警報」発表
14時28分	「避難準備・高齢者等避難開始」発令
15時04分	避難所開設・市内全域に「避難勧告」発令
15時27分	「短時間大雨情報」発表（1時間110mm）
16時30分	「大雨特別警報」発表
	災害警戒本部から災害対策本部へ移行
	市内全域に「避難指示」発令
7月7日 11時40分	「大雨特別警報」解除
7月8日 4時18分	「洪水警報」解除
5時10分	「土砂災害警戒情報」解除
9時48分	「大雨警報」解除・「避難指示」解除
	「災害対策本部」を解散
10時30分	全避難所閉鎖

7月6日から7日にかけて、梅雨前線停滞の影響で、長崎空港の雨量計が、1976年の観測開始以来最大となる24時間雨量384ミリを観測するなど記録的な豪雨に見舞われました。

市では、16時30分の「大雨特別警報」発表に伴い、「災害対策本部」を設置し、市内全域に「避難指示」を発令。合計29カ所の避難所を開設し、最大で755人の避難者を受け入れました。また、消防や自衛隊など関係機関と連携し、避難支援や被害状況の把握などの対応にあたりました。

被災された多くの皆さんに心からお見舞い申し上げますとともに、今後も関係機関と連携しながら全力で復旧作業に取り組んでいきます。



8



4



1



9



5



6



10



7



提供：長崎新聞社

11

大村市災害ボランティアセンター



- 1、8 佐奈河内川の決壊で大量の土砂が流入した水田(福重地区)
- 2 佐奈河内川からの濁流でアスファルトがめくれ上がった市道(福重地区中田橋周辺)
- 3 土砂崩れが発生した市道(菅瀬地区)
- 4 農地のり面の崩落で塞がった道路(三浦地区)
- 5 佐奈河内川からの濁流でフェンスが曲がった今富水源(竹松町)
- 6 災害状況の確認を行う災害対策本部(市役所)
- 7 冠水した国道34号(久原2丁目与崎交差点付近)
- 9 水位が上昇し護岸まで迫る郡川(鬼橋周辺)
- 10 冠水し倒壊したビニールハウス(福重地区)
- 11 7月10日に開設された災害ボランティアセンター(プラットおおむら)